

INTERVIEW

Q：メタルコアを除去するにはどのような方法があるのでしょうか？

A：バーで削る、超音波スケーラで振動を加える、専用の器具で把持して除去する。リムーバーを用いる、普通のドライバーを用いる。などがあります。

Q：2本のドライバーを用いる方法は、他の方法と比べてどのようなメリットがあるのでしょうか？

A：2本のドライバーをあらかじめ形成した溝に差し込み、それぞれを逆方向に回します。
そうすることでテコの原理でコアを持ち上げます。
コアを把持して「揺さぶる」ことがありませんので、歯根破折のリスクは減少します。
また、コアのマージン部(歯質との境界部)にバーで溝を削るだけですので歯質の切削量は減少します。
コアの大きさや形状、残存歯質量、前歯/臼歯を問わずに使用可能なこともこの器具のメリットです。

Q：新しく開発したCRTDと従来のドライバーの違いを教えてください。

A：ドライバーの先端に凹が入っています。この凹でコアを包み込み、より小さな力で垂直方向にコアを除去しやすくなりました。さらに、先端の厚みにも工夫をしています。通常のマイナスドライバーは、先端が薄くてもすぐに厚みが増してしまいます。
CRTDは薄い部分を長くしました。これにより、コアに入れた溝にドライバーが装着しやすくなります。
また、滅菌可能な点も安心です。

Q：CRTDには「直」と「曲」があります。どのように使い分けていらっしゃるのでしょうか？

A：コアにアクセスしにくい臼歯部で「曲」を使うことが多いです。頬側でも舌側でも使用可能です。

Q：禁忌症や、使用を避けるべき症例はありますか？

A：歯根が破折している、または破折の恐れがあるような症例は避けるべきです。
歯質が薄い部位を支点にすることも避けます。

Q：最後にテクニックのポイントを教えてください。

A：2本のドライバーを同時にそれぞれ逆方向に回転させ、テコの原理でコアを持ち上げる事が大事です。
無理に力を加えること、無理に引き抜くことなどは避けてください。
コアに溝を入れる際、特に舌側では小さなダイヤモンドバーを使用すると軟組織をまきこむリスクが減少できます。



鳥潟 隆睦 先生

Ryuuboku Torikata
りゅうぼく歯科 (大阪市)

私は15年以上、この方法でメタルコアを除去しています。
前歯、小白歯、大白歯含め90%はこの方法を用いておりますが、大きなトラブルは経験していません。
初めての先生には比較的簡単な症例から使われることをお勧め致します。

CRTD

Core Removable
Tactics Driver

メタルコア除去用ドライバー



Forest-one

CRTD

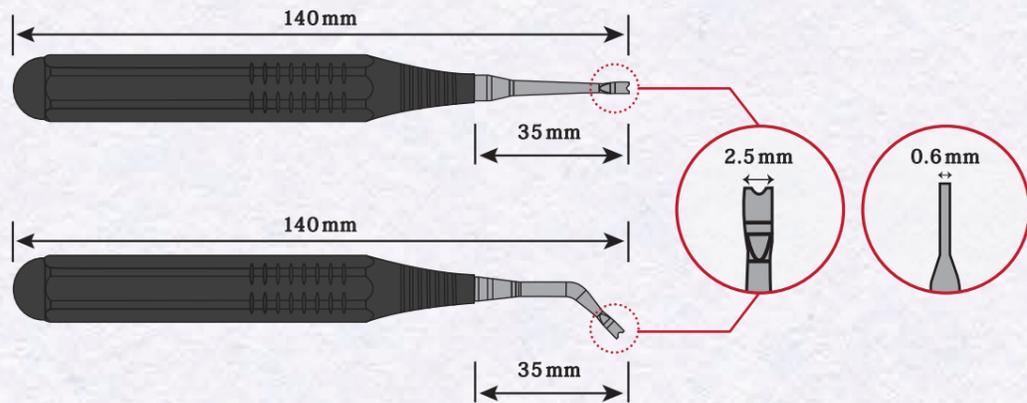
Core Removable
Tactics Driver

特許出願中!

- ◆ 前歯/臼歯 ともに使用可能
- ◆ コアの形状を問わずに使用可能
- ◆ 先端の凹みでコアをしっかりと把持
- ◆ 直・曲の組み合わせでストレスなくアクセス可能

寸法

直 straight

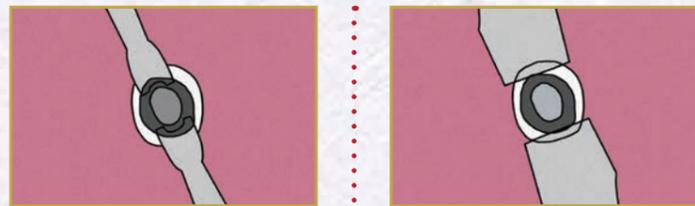


曲 curve

形状

- ◆ CRTD(コアリムーバブルドライバー)
- ◆ 一般的なマイナスドライバー

コアの把持の比較



先端の厚みの比較



先端の横幅の比較

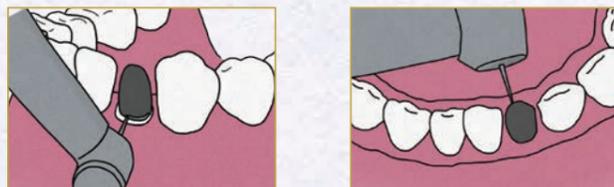


一般的なドライバーに比べ、先端は薄く、細く、凹みを付与しています。切削量が少なくても溝の奥まで差し込め、残存歯質に“支点”が確保しやすい形状です。

使用手順

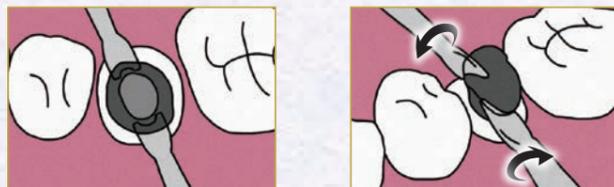
◆ step1

メタルコアと歯質の間に溝を形成します



◆ step2

2本のドライバーを差し込み、それぞれ逆方向に回転させます



◆ 前歯でも臼歯でも利用可能。

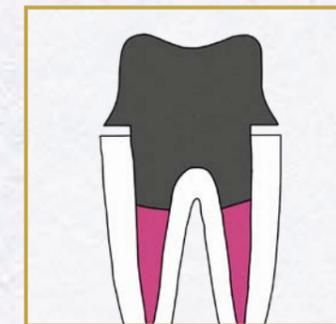
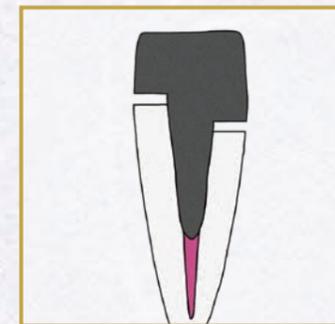
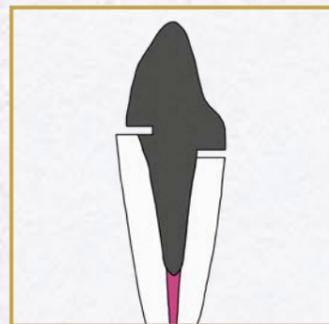
前歯



臼歯

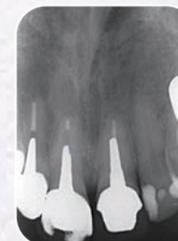


◆ 歯質の高さが異なる歯牙でも利用可能です。



前歯

before



after



除去したコア



臼歯

before



after



除去したコア



医療機器製造販売届出番号	12B1X10014000029
一般的名称	歯科用起子及び剥離子
製品コード/JAN	4573443677086
販売名	コアリムーバブルドライバー



〒274-0825 千葉県船橋市前原西 2-32-5
TEL : 047-474-8105 FAX : 047-474-8106
<http://www.forest-one.co.jp/>